

平成24年度年間授業計画(シラバス)		第2学年・国語
月	学習内容(単元)	年間学習目標
4	・かくれんぼ(お話) ・たんぽぽ(説明文)	【国語への関心・意欲・態度】 国語に関心をもち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。 【話す・聞く能力】 相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないで聞いたりする。 【書く能力】 経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。 【読む能力】 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気づきながら読む。 【言語についての知識・理解・技能】 音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事柄について理解する。
5	・お手紙(お話)	
6	・ふろしきは、どんなぬの(説明文) ・画の長さ・画の方こう ・文字の形	
7	・できるようになったよ ・空にぐうんと手をのばせ(詩)	
9	・いろいろなおとのあめ(詩) ・ひつじゅん	
10	・かんじたことを ・名前を見てちょうだい(お話)	
11	・ビーバーの大工事(説明文) ・二年一組、はつ明じむしょ ・画のつき方	
12	・文字の中心 ・画の交わり方 ・書きぞめをしよう	
1	・かさこじぞう(昔話) ・「おもちゃまつり」へようこそ	
2	・虫は道具をもっている(説明文) ・ニャーゴ(お話)	
3	・画の間かく ・かん字の書き方	
年間授業時数		315
授業の工夫	○ 音声、文字、ことば、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事柄が身につくよう、プリントをなど使って反復学習を行い学習を深める。 ○ 学び方を身につけさせるために、めあてや学習計画を大切にするとともに、ねらいに応じてグループ学習やコース別学習などさまざまな学習形態を取り入れる。 ○ 視写を取り入れ、文章の正しい表記の仕方を身につけるとともに、集中力や持続力を養う。 ○ 書く力を高めていくために、感想文・日記・手紙・作文などさまざまな書く活動を取り入れる。	
評価について	○ 単元ごとに行うテスト、小テスト(本読みテスト・漢字テスト等も含む)だけでなく、提出物、発言、作文・感想文・日記・学習のまとめなどの具体物によって評価する。	
学習方法 (家庭学習) など	○ 音読(本読み)は、学習の基本であり、家庭学習としても年間を通して取り組む。意欲の継続には、より多くの人からの肯定的評価が効果的なので、家庭にも協力を求める。 ○ 読書は、国語の基本的な力の育成からも、豊かな心の育成からも重要であり、習慣化できるようにする。	